

## 熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	Xさん（仮名）		
所属	文学部		
留学先機関名	東亜大学校（国名：韓国）		
留学先所属	特定の学部・研究科に所属（人文学部 哲学生命倫理学科）		
留学期間	2017年8月－2018年6月	留学開始時 学年	4年次
奨学金	JASSO 海外留学支援制度		



## 1. 出発前の準備について

ビザの種類	有 種類(留学 D-2)	ビザ申請先	国内 場所(福岡)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	2017年6月30日申請 2017年7月3日発給 1. 査証発給申請書、パスポート、標準規格写真1枚、手数料 2. 教育機関の事業者登録証の写し又は固有番号証のコピー 3. 標準入学許可書(大学総学長発行) 4. 家族関係立証書類(両親の残高証明書を提出する場合に限る) 5. 滞在費立証書類 6. 所属大学の長が発給した推薦書 7. 交換学生であることを立証する書類 8. 本国大学の在学証明書		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	東亜大学に提出する書類 交換留学願書、在学証明書(英文)1部、成績証明書(英文)1部、 パスポートの写し2部、写真3×4サイズ、背景白4枚、健康診断 書(結核、B型肝炎)1枚		
留学に向けて 取り組んだ語学	韓国語		
勉強方法	韓国語でラジオを聴く 単語を覚える ニュース記事を写して翻訳する		
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	寮に入るために健康診断を受け、診断書を提出 外国人登録証をつくるために、パスポートを持って指紋を撮影 寮費などを入れておくための口座開設 これらの手続きは韓国人学生スタッフが場所まで引率し、サポートしてくれる		
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	授業料 60万円(熊本大学の授業料) 寮費 63000円(1学期) 教材費 10000円(1学期) ビザ申請 1000円 渡航費 片道 10700円 海外旅行保険料 12800円		

## 2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	エアプサン	手配	HIS ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本、福岡、釜山	到着時刻	12時40分 【※移動時間（約3時間）】
大学（寮）への 移動手段	知人の出迎え		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港から出ている電車に乗り、バスに乗り換えて、大学前で寮まで行くバスに乗り換える。全部で500円くらい。		
住居のタイプ	寮	住居 手配	大学の斡旋
部屋の種類	二人部屋	ルーム メイト	日本人学生
住居の申込手順	寮の行政室に行き、健康診断書を提出 寮の出入り時に使うカードを受け取り、部屋の暗証番号もきく		
住居でのトラブル および解決方法	寮のホームページ上に故障申請または寮の行政室に直接報告		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	寮が大学のキャンパス内のため、歩いて通学可能 他のキャンパスへは大学の循環バスを利用（無料）		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 60000 円/月 (生活費内訳) 住居費：63000円（学期初めのみ）/光熱費：0円/ 通学費：0円 食費：45000円/通信費：6000円/書籍代：3000円 その他：（娯楽）5000円  ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの：0円		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	釜山銀行で口座を開設し、その口座に生活費を日本から振り込んでもらったり、寮費を引き落とししたりした。外国人登録証が出来た後は、銀行のカードが作れるため、窓口ではなくATMで手続きができる。携帯電話は、中古で本体を購入し、使用分を支払って使用。韓国はカード文化が進んでいるため、ほとんどの会計がカードで可能。荷物は必要最低限を日本からスーツケース2つに入れて持って行き（追加料金かかる）、後日洋服等、EMSで送ってもらった。韓国からは学校内にある郵便局から船便または航空便で荷物を送ることが出来る。		

### 3. 留学先の大学について

<p><b>授業(カリキュラム)の概要について</b></p>	<p>2017年2学期(留学初めの学期)は、月曜から金曜まで語学堂で留学生のみの授業を午前中受け、午後からは哲学科の人文医学の理解という授業と、教養の遊ぶ人間という授業を履修した。</p> <p>2018年1学期(留学後期)は、全て哲学科の授業で、倫理学、自我の哲学、医学の哲学と倫理、生と死の倫理という授業を履修した。</p>
<p><b>履修登録の時期 登録方法</b></p>	<p>渡航後⇒(9月頃) オンラインで登録</p>
<p><b>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、 留学生専用のオリエン テーション、チュー ター制度等)</b></p>	<p>有り(具体的には以下のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生を受けられない授業もあれば、留学生向けの授業もある(教授によって異なる)</li> <li>・留学生サポートの学生が授業を一緒に聞いてくれる</li> </ul>
<p><b>留学先大学でのサポ ート体制について (語学面/学校生活/ 住居・日常生活等)</b></p>	<p>私が留学した最初の学期までは、日本語学科や日本語が可能な韓国人学生が、手続きや授業のサポート、釜山の案内をしてくれた。連絡は携帯電話を通して伝えられた。後半の学期からは、体制が変わり、留学生全体のサポートとして国に関係なく韓国人学生がついた。そのため、連絡事項も日本語で別個行われず、英語または韓国語で行われた。</p>
<p><b>留学開始後に行った 留学先大学の手続き (学生証、履修登録、 大学IDの設定等)</b></p>	<p>学生証は東亜大学の学生証アプリをダウンロードする。 寮に提出する健康診断の書類のため、保健所で検査。 履修登録は学校のオンライン上で行う。 大学IDは事前に知らされる。</p>
<p><b>授業外活動について (サークル、部活、イ ンターン、フィールド ワーク等)</b> ※どうやって探したか、 どのような活動か、入る きっかけなども具体的に</p>	<p>哲学に関する本を読んで意見を交わす哲学科のスタディに友人の紹介で参加したが、授業で扱う本がすでに3冊あり、予習する時間が足りないため、数回のみ参加した。日本語学科の留学生サポートスタッフの紹介で日本語勉強会に、日本語の会話練習として参加。日本語を勉強する韓国人の学生と色々なテーマで会話をした。また、釜山で行われた日本との文化交流イベントで、韓国側のスタッフとして通訳と案内をした。</p>

#### 4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

後期(留学では最初の学期) 2017年9月から12月までの場合

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	語学堂 単語	語学堂 読解	語学堂 会話	語学堂 文法	語学堂 単語		
10:00	語学堂 文法	語学堂 単語	語学堂 読解	語学堂 会話	語学堂 文法		
11:00	語学堂 会話	語学堂 文法	語学堂 単語	語学堂 読解	語学堂 会話		
12:00	語学堂 読解	語学堂 会話	語学堂 文法	語学堂 単語	語学堂 読解	買い物	旅行
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食		
14:00	キャンパス 移動	キャンパス 移動	キャンパス 移動	キャンパス 移動	キャンパス 移動		
15:00	人文医学の 理解(専門)	遊ぶ人間 (教養)	人文医学の 理解(専門)	遊ぶ人間 (教養)		自習	外出
16:00	人文医学の 理解(専門)	遊ぶ人間 (教養)	人文医学の 理解(専門)	遊ぶ人間 (教養)			
17:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食		
18:00	予習	予習	予習	予習	予習		
19:00	予習	予習	予習	予習	予習		
20:00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	点呼	点呼	点呼	点呼			

## 5. 留学成果とアドバイス

### 留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

実際に会話をする中で、発音の難しさや、人によってイントネーションや単語のチョイスが異なることを学んだ。一度聞いて聞き取れなかった部分は、もう一度聞きなおしたり、違う言い方をしてもらおうと理解できたりして、自分の足りない部分を知ることが出来た。話は通じて中身のある話をもう少しできるようになりたいと思ったため、そのレベルの会話にも対応できる単語力を身につけるのが次の課題だ。留学に行く期間は、留学生または外国人というレッテルがあり、わからなかったり失敗しても仕方ないという見られ方があるので、そこは甘えて、失敗を恐れず何でも挑戦すると思う。そのぶん、語学力は現地人より足りなくても、一生懸命取り組む姿を見せれば認めてもらえる。日本語を好きな韓国人もいるため、親しくなるとお互いのためにより関係なので、留学生活が円滑に進むと思う。私もともと人見知りする性格のため、自分から積極的に関わるのは難しかったが、外国だと思い切って行動すると、後悔することもないと思う。

### 同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

東亜大学はキャンパスも広くきれいで、街にも近いので便利なほうだと思う。キャンパスが3つあり、寮があるキャンパスと、外国語学科や語学堂があるキャンパスが異なるため、移動しなければならないが、循環バスがあるためそこまで不便ではなく、地下鉄やバスも安いいため、住みやすいと思う。留学前からある程度の語学力があれば、連絡事項などもあわずに対応できるので、準備はしておくといい。留学中は環境が今までと大きく変わり、ストレスを感じやすいため、自分が好きなもの、落ち着くものを把握しておいて、精神的な管理も心がける必要がある。チュソク（韓国のお盆）やお正月の期間は韓国人学生は実家に帰ったり、お店が開いていなかったりするので、日程を先に把握して、その時期は帰国したり、都市に旅行に行くことをおすすめする。また、一時期寮を出なければならない日があり、何も知らないと滞在する場所を急いで探すことになるので日程の把握は常に早めにするのがよい。寮費の支払いなど、連絡事項は日本に比べて急に言われ、急に変更になるのでそのつもりで準備しておくといい。

### 留学を通しての感想

留学に行く前までは一人で生活できるのか、海外でうまく生活していけるか、正直不安もあった。行きたいと思っていた国でも、行く日が迫ってくると、留学まではしなくてもいいのではないかなど心配事が絶えなかった。しかし、いざ留学に行ってみると、自分が今まで住んでいた世界とはまた違う生活があることを経験し、不安や後悔よりも留学を決意してよかったという思いが強くなった。寮生活や、韓国語での生活は、慣れないことばかりだったが、それは当然のことなので、むしろそれを武器に留学生同士協力できた。外国人という立場も日本には経験できないことなので、留学のよい点は、やはり日本ではできない経験をすることが出来る点だ。必ずしもその経験がよい経験とは限らなくても、苦勞をしても、その経験はその人にとって何かのきっかけになったり影響を与えたりするため、留学をしたいけど不安だからと、悩んでいる人はぜひ思い切って挑戦してほしいと思う。私は3年生が終わった後、就職活動をするか悩んだときに、このまま就職するのは後悔しそうだと思い、留学を決めた。卒業し、就職するまでは2年遅れることになるが、それでも3年生のときにした決断を私は後悔していない。留学した経験は、自分の中でも大切な基盤になり、これからの人生にもずっと影響を与えていくと思う。外国に関心を持ち、外国語を身につけるために経験を積むことはその人の強みになると思うので、私もこれからこの経験を活かしたいと思っているし、悩んでいるなら一歩踏み出してほしいと思う。